

桐生繊維業界の実態

昭和63年1月～12月

桐生市繊維振興協会

昭和63年12月末現在

桐生繊維業界の概況

1. 調査対象団体数	20団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2. 産地収入	(昨年比較)
(1) 生産高	377億5,753万円（104%）
(2) 加工収入高	228億9,151万円（98%）
(3) 販売高	177億3,644万円（86%）
合計	783億8,548万円（97%）

3. 総組合員数	1,225事業所
4. 総従業員数（家族従業員含）	7,952人
5. 一事業所当り従業員数	6.5人
6. 一事業所当り生産販売加工高	6,399万円
7. その他参考	

	(比較)
54年産地収入	1,078億1,166万円（100）
55年	1,170億6,380万円（109）
56年	1,110億8,757万円（103）
57年	1,083億3,093万円（101）
58年	1,023億634万円（95）
59年	976億1,960万円（91）
60年	917億1,760万円（85）
61年	853億4,182万円（79）
62年	804億8,548万円（75）

1. 組合員数及び従業員数

所属団体		組合員数 事業所	従業員数					従業員 平均年齢 才
			従業員		家族従業員		計 人	
			男人	女人	男人	女人		
桐織協	広幅協議会	465	275	290	437	618	1,620	50
	内地協議会	248	586	937	80	100	1,703	50
桐生織物商業協		5	24	15	0	1	40	37
桐生織物産地元売協		22	81	34	4	15	134	39
両毛輸出織物整染(口)		27	467	247	41	27	782	49
桐生染色協		37	220	32	24	18	294	47
桐生繊維製品協		41	200	710	27	38	975	28
桐生糸商組合		23	26	7	1	3	37	48
東日本編レース(口)		27	62	66	28	21	177	41
桐生撚糸(口)		44	7	43	45	49	144	55
桐生婦人子供服製造協		9	18	122	12	12	164	30
両毛輸出スカーフ協		10	6	8	10	8	32	-
桐生織物整経協		79	5	34	91	87	217	55
桐生意匠協		41	18	2	5	14	39	40
桐生絞紙協		29	18	5	38	24	85	-
東毛ジャカード刺繍協		13	28	35	16	24	103	29
桐生刺繍商工業協		65	201	323	125	137	786	39
桐生金銀糸協		14	35	9	0	7	51	44
桐生織物買継商友会		26	9	0	27	27	63	47
群馬県綿スフ織物(口)		107	190	240	29	47	506	44
(協)シルク・ルネッサンス群馬		14	2	20	14	14	50	50
計		1,225	2,476	3,159	1,040	1,277	7,952	-

- 注(1) 桐織協の組合員数の数字は、群馬県綿スフ織物(口)の107事業所を含む。
 (2) (協)シルク・ルネッサンス群馬は、他の組合と重複しているので、計算に含まず。
 (3) 桐生糸商組合は、組合員23社中4社分の計です。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

単位 万円

所属団体		生産高	加工高	計	昨年比較	取引先区分	
						県内	県外
桐織協	広幅協議会	1,232,183	-	1,232,183	93%	0%	100%
	内地協議会	631,903	68,250	700,153	99	0	100
両毛輸出織物整染口		-	505,062	505,062	107	30	70
桐生染色協		-	170,038	770,038 170,038	100	59	41
桐生繊維製品協		130,000	734,000	864,000	92	10	90
東日本編レース口		591,484	-	591,484	361	52	48
桐生撚糸口		-	31,520	31,520	101	90	10
桐生婦人子供服製造協		80,756	137,753	218,509	88	0	100
桐生織物整経協			32,528	32,528	82	90	10
桐生意匠協		32,635	-	32,635	115	70	30
桐生紋紙協		46,436	-	46,436	99	84	16
東毛ジャカード刺繍協		80,227	-	80,227	90	3	97
桐生刺繍商工業協		630,000	610,000	1,240,000	94	0	100
両毛輸出スカーフ協		45,907	-	45,907	100	0	100
群馬県綿スフ織物口		274,222	-	274,222	102	0	100
計		3,775,753	2,289,151	6,064,904	101	33	67

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

単位 万円

所属団体	販売高	昨年比較	桐生市内	県内	県外
桐生織物産地元売協	628,132	98	0	0	100
桐生織物商業協	258,117	50	0	0	100
桐生糸商組合	451,895	100	67	3	30
桐生金銀糸協	180,500	95	80	10	10
桐生織物買継商友会	255,000	100	0	0	100
計	1,773,644	86	29	3	68

4. 内需向，輸出向区分

単位 万円

所属団体	内需向		輸出向		計
	金額	割合	金額	割合	
桐織協広幅協議会	909,929	74	322,254	26	1,232,183
桐生織物商業協	103,535	40	154,582	60	258,117
両毛輸出織物整染(工)	400,856	79	104,206	21	505,062
桐生染色協	125,838	74	44,200	26	170,038
桐生繊維製品協	854,000	99	10,000	1	864,000
東日本編レース(工)	567,825	96	23,659	4	591,484
桐生刺繍商工業協	1,230,000	99	10,000	1	1,240,000
桐生金銀糸協	84,835	47	95,665	53	180,500
両毛輸出スカーフ協	3,000	7	42,907	93	45,907
桐生織物整経協	23,095	71	9,433	29	32,528
桐生意匠協	28,300	87	4,335	13	32,635
桐生紋紙協	39,200	84	7,236	16	46,436
群馬県綿スフ織物(工)	268,697	98	5,525	2	274,222
計	4,639,110	85	834,002	15	5,473,112

5. 各団体の取扱品目

団体名	品 目				
	割 合	割 合	割 合	割 合	割 合
桐 織 協 (広 幅 協 議 会)	合織織物	人絹織物	絹織物	ベンベルグ織物	そ の 他
	56	20	13	4	7
桐 織 協 (内 地 協 議 会)	帯 地	広 巾	服飾工芸	着 尺	
	70	11	10		
桐 生 織 物 商 業 協	化 合 織 物	二次製品			
	97	3			
桐 生 織 物 産 地 元 売 協	帯 地	着 尺	二次製品	服飾工芸	そ の 他
	61	15	7	4	13
両 毛 輸 出 織 物 整 染 工	ニ ッ ト	合 織	人 絹	絹	
	54	33	10	3	
桐 生 染 色 協	合 織	レ ッ ヨ ン	綿 ウール等	絹	
	43	33	13	11	
桐 生 織 維 製 品 協	ブラウス	ニットシャツ	ワンピース	コ ー ト	そ の 他
	75	9	5	3	8
桐 生 糸 商 組 合	化 合 織	生 糸	綿・スフ	そ の 他	
	65	18	15	2	
東 日 本 編 レ ー ス 工	カーテン レ ー ス	衣料レース	資 材	そ の 他	
	70	17	5	8	
桐 生 撚 糸 工	合織撚糸	人絹撚糸	絹 撚 糸		
	55	25	20		

注：桐生糸商組合は、組合員23社中4社分の数字です。

桐生婦人子供服製造協	婦人 ブラウス	スカート			
	99	1			
両毛輸出スカーフ協	スカーフ				
	100				
桐生織物整経協	整経				
	100				
桐生意匠協	洋反帯	夜具	インテリア	その他	
	16	15	13	12	44
桐生絞紙協	紋紙	エンドレス			
	60	40			
東毛ジャカード刺繍協	ワッペン	Tシャツ	トレーナー	その他	
	41	20	15	24	
桐生刺繍商工業協	婚礼関係	ブラウス 加工	婚礼加工	ハンカチーフ	雑貨
	40	24	16	10	10
桐生金銀糸協	金銀糸	関連製品			
	80	20			
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着尺	広巾・服地 その他	
	68	25	2	5	
群馬県綿スフ織物(公)	衛生材料	硝子 織維織物	婦人服地等		
	75	15	10		

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐織協 (内地協議会)	広巾織機	177	桐生婦人子供 服製造協	本縫ミシン	147
	並巾 "	1,287		ロックミシン	34
	小巾 "	242		特殊ミシン	57
	レピア "	142		その他	3
	計	1,848		計	241
桐織協 (広幅協議会)	超自動織機スルーザー	72	桐生織物 整経協	整経機	97
	" レピア	508		ワインダー	5,514
	自動及び普通織機	2,635		計	5,611
	計	3,215			
尚毛輸出織物 整経(口)	精練漂白機	82	桐生意匠協	拡大機	40
	乾燥機	130		コピー機	15
	染色機	123		コンピューター	17
	仕上機	80		パンチング	11
	計	415		計	83
桐生染色協	染色機(常圧噴射式)	135	桐生絞紙協	ピアノマシン	70
	" (高圧 ")	43		裁断機	38
	" (汎 ")	46		編機	46
	チーズ及チーク	71		ワンプンチ	30
	計	295		その他	68
桐生織維 製品協	縫製ミシン	1,245	桐生刺繡 商工業協	計	252
	プレス	80		横振ミシン	2,000
	裁断機	75		ジャカードミシン	4,150
	計	1,400		計	6,150
東日本編 レース(口)	ラッセル機	195	群馬県綿スフ 織物(口)	広巾普通織機	176
東毛ジャカード 刺繡協	ジャカードミシン	70		小巾 "	243
桐生撚糸(口)	イタリ一式撚糸機	139		超自動レピア	49
	合撚式 "	54		ガラス繊維織機 (規制外レピア4台含む)	134
	アップワインダー	8		計	602
	長谷式	3			
計	204				

7. 最近の推移（63年10月～元年2月）

所属団体	項	受注，引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比	上昇	変わらず	下降	前年対比
桐織(協)	広幅協議会			○	93			○	99
	内地協議会		○		100		○		100
桐生織物商業(協)				○	60			○	50
桐生織物産地元売(協)			○		100			○	98
両毛輸出織物整染(工)		○			105		○		107
桐生染色(協)			○		100		○		100
桐生繊維製品(協)				○	95	○			110
桐生糸商組合			○		100		○		100
東日本編レース(工)		○			150	○			105
桐生撚糸(工)		○			101		○		100
桐生婦人子供服製造(協)				○	95	○			110
両毛輸出スカーフ(協)			○		100		○		100
桐生織物整経(協)				○	90			○	95
桐生意匠(協)			○		100		○		100
桐生絞紙(協)			○		100		○		100
東毛ジャカード刺繍(協)			○		100		○		100
桐生刺繍商工業(協)				○	95	○			105
桐生金銀糸(協)				○	95			○	95
桐生織物買継商友会			○		100		○		100
群馬県綿スフ織物(工)			○		100		○		100
計		3	10	7	99	4	11	5	99

1. 桐織協同組合（広幅協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

輸出向け織物については、メタルものが主流から外れ、これからはメタルを上品に使用したものが増加する傾向にある。

国内向け婦人服地については、相変わらず天然繊維指向が強いが一部にレーヨン使いのものの動きがみられる。

★ 状況、事業概要

輸出向け織物は、円高、NIESの追い上げ等で前年対比数量で36%減少し、金額でも42%の大幅な減少となった。国内向け広幅織物は、前年対比数量で1.5%増加し、金額では0.7%の減少でやや横這いに推移した。そのうち、婦人服地は全般的に天然繊維指向におかれて苦戦したが、最近になりレーヨン使いのジャカード製品の流行の兆しがあり、今後を期待をしている。ますます多品種、小ロット、短サイクルの傾向が強くなり、従って採算状況は非常に厳しい。一方インテリア、寝装品関連製品は、強い需要に支えられ好調であり、取り扱い企業の経営努力もあり、今後も堅調に推移するものと思われる。

全般に消費者ニーズの多様化、個性化、高級化が進む中で、その適切な把握が必要となるものと思う。

★ 今後の課題

輸出向け織物は、円高の上にNIESの追い上げ等で今後とも厳しい環境は続くものと考えられる。

一方内需向けは、ますます高級化が進むためにデザイン、ファッション等のソフト面の豊富なデータをもとに、さらに新規製品の開発努力が必要となり、そのためには、繊維関連団体で組織される桐生市繊維振興協会を中心に、新繊維ビジョンをもとに産地振興対策、新構造改善事業、繊維リソースセンター等の諸課題を繊維業界挙げて真剣に検討して、国、県、市の指導を得て、産地内の関連団体が密接な連携をはかり、実需対応型補完連携供給体制を構築し、生活文化提案型の産地としての生き残り対策を促進して行きたい。

2. 桐織協同組合（内地協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

当内地協議会員が主に取扱う呉服業界においても益々商品が多様化、ソフト

化している。

いまわかりやすく箇条書きにしてみると、

- 少品種大量生産から多品種少量生産へ
- 従来のレベル品から高級化、高額化、本物志向へ
- カジュアルからフォーマルへ
- 必需品から必欲品へ
- モノからモノプラスソフト（情報、サービスの付加）へ

★ 品種別の動向について

◎ 帯地部門

帯地部門では、自粛ムードの影響から全般的に沈静化した動きであり、特に歌舞音曲に係る品種が顕著であった。

しかし、実需期は相応の取引があった。尚最近の生糸高は収益が圧迫され、一番業者の頭の痛いところであり、何とか政治的にも解決してほしいとの要望が非常に強い。

（袋 帯）

佐賀錦の袋帯が定着し、順調に動いた。生産業者が増加したので、多少のでき過ぎが心配されるが、技術的にも研究が進み、価格面での魅力と相まって集散地において高い評価を得ている。

今後においては更に一ランクアップした商品を開発して、時代の要望の高級化に合った充実した商品内容にしていく。「シャレ物」にも力を入れそれぞれの着る場所に合わせた文化提案型の高級化をはかる。

（ジュニア祝袋帯）

バランスのとれた生産が行われ、これと同時に委託商品が少なくなった。返品もほとんど無く、取引の改善も集散地の理解を得て更に正常化が促進された。

古典調の物とともに若向きの感性の高い切り口も押し進めていく。

（黒共帯）

有力メーカーの努力により、一層の高級化がなされ、他産地に負けない優秀製品が生産されたため、全国集散地から最高の評価を得た。

今後とも順調な生産が続くものと思われる。

(夏 帯)

委託と買取りに分かれるが、価格面での格差をつけることにより買取り方式が多くなった。このためメーカー主導の取引きとなり、穴あきものを中心に非常に順調な動きを示した。

四寸、四寸五分のゆかた帯は、ここ1・2年産地ペースの取引きが回復しており、期待がもてる商品となっている。

(細 帯)

大正ロマン調が完全に沈静化し、ハートのある商品が新しい切り口として根づいてきた。また上代のランクの低いものは地方で動いている。大正ロマンにより多くの提案型商品の開発が試みられた結果、これら経験得起爆剤として今後のエネルギーに点火したい。

(小袋帯)

細帯の影響を受け一段とグレードアップが進んだ。生産者は少なくなったが、生産と販売のバランスがとれて堅調に推移した。

(なごや帯)

洗える着物に締めるものとして、ポリエステル素材のものが非常に人気があった。

きもの学院向きやブック販売向きが主流であるが、昨年にくらべても更に実績を上げた。

(京 袋)

ブランド関係は不調であったが、値頃品がうごいた。

◎ 着尺部門

着尺部門は前年から基調は変わっておらず、生産高も前年比微減にとどまった。

以然として紋着尺は織に後加工やしぼり等を加えた染織併用の手のこんだものが中心で、比較的順調であった。

お召しはカジュアル中心の中にあって主流ではないが、一部の愛好家の間で根強い人気がある。

尚新しい織のコートの試作品もでき上り、今後期待している。

◎ 服飾工芸品部門

羽裏、兵児帯、胴裏類は前年比はほぼ横這いであった。刺繍の半エリは需要

の一巡で売れ行きは沈静化しているが、色目は大正ロマン調から薄目で明るいものに変化した。

その他、小物・インテリア関係は特に目立った傾向は認められない。

布素材については、もともと量産タイプのものでなく付加価値を追うものであるが、当年は一段と高級指向となっている。

★ 今後の課題

組合が対応すべき課題と組合員自身の課題に分けて考える。（はっきりした区分はむずかしいが）

(1) 組合の課題

- 桐生ブランドの確立（ブランドのない不利益）
- 産地内の技術、感度の向上
- デザイン部門の強化（物マネを解消するには）
- 商取引の改善（旧態依然の状況）
- 組合員従業員の老令化
- 関連企業の従業員の老令化
- 従業員教育の徹底
- 組合員への情報の発信

(2) 組合員の課題

- 設備の近代化
- ダイレクトジャカードの導入
- 後継者の育成

3. 桐生織物産地元売協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

大正ロマン調、ニューきもの等が影をひそめ、先染織物時代が減退し、後染織物から刺繍等をあしらった高級品嗜好に向っている様である。それだけ当産地のような先染産地は苦しい立場にあった。

★ 状況、事業概要

当組合63年度の取扱い状況は前年対比98%強で全くの横這いに終わったが、先染織物に限らず各店が、それぞれの努力によってこの不況期を乗り越えてきたものと思える。

★ 今後の課題

当桐生産地にあっては多品種、多様業種の産地であるので、各企業間のネットワークを確立し、独自の商品開発を行い、社会の変化に対応して行く必要がある。

4. 桐生染色協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者ニーズの個性化、高級化はますます顕著となり、このため染色加工品の素材は多種多様、そして色合せは勿論のこと感触性など重要視されるようになってきている。

★ 状況、事業概要

加工数量は前年比微減に止まったが、繊維産業が構造的に変化していくにつれ小ロット、短納期のものの比率が増加し生産コストの上昇採算的にきびしい状況が続いている。

★ 今後の課題

我が国経済の全体的な景況は好調の様子で繊維製品の売れ行きもよいとのことであるので我々は両毛地区の技術と伝統を生かし売れる商品づくり、少ロット、短納期化の対応、また職場を魅力あるものにして従業員の高齢化対策、後継者難等の解決に努めたい。

5. 桐生繊維製品協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

堅調な個人消費に支えられ、ファッション性の高い高品質な商品は小売価格が相当高くなった事等で、大手アパレル始め、流通は好業績で推移した。当地区の主力婦人ブラウスも素材デザインにより上代3万～4万位の商品も大分増えて来た。

又、素材的にはシルク、後半にはプリント物が目を引いた。

★ 状況、事業概要

国際競争の本格的時代を迎えるアパレルにとっては、感性品質とも国際水準を抜く所謂「エクセレント」な物造りが生き残る道となっており市場の急速な変化により吾々生産者は受註及び生産のあり方も効率と収益のからみで業界内

でもある種の危機感をいだいており、企業間格差が出て来た一年であった。
又、組合事業として、県、市の助成を得ながら新商品開発事業に取り組んだ。

★ 今後の課題

消費者ニーズが多様化し、差別化への「ウオント」が高くなるほどお金以外の“何か”が重要になってくるし、感性をいかにして企画や生産の中でカタチに出来るかが、アパレル企業のこれからの勝負どころである。

デザインを見る感度、物を作る感度、人を動かす感度、機器を使いこなす感度が最も必須な高感度生産時代になる。これからは、それらの企業力により従来からの賃加工形態から「作って売る」方向へ進んで行くべきだ。

又、一方吾々生産者にとって雇用と人材の育成が一番ネックとなって来るだろうし、その対応如何が企業及び業界の伸展にかかっている。

6. 桐生糸商組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

原糸では、天然繊維の需要が伸びた。

★ 状況、事業概要

ますます小口の注文が多くなる。

機業場より染色、整経等の加工を原糸商側に強いて来る傾向が多い。

★ 今後の課題

準備工程（撚糸、染色等）及び後加工の不完全さを感じる。

商品開発力の強化を望む。

7. 東日本編レース工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

インテリア関係は住宅着工数が減少等の懸念もあるが、窓装飾ブーム等により先行明るい見通し。資材関係の垢擦タオルも消費者に見直されかつネックであった仕上（ヘム縫）が機械化され明るい見通し。

★ 状況、事業概要

昭和63年1月に設備共同廃棄を実施（東日本地区は29企業 114台）せるも同編機は老朽機が多く、又62年後半より殆ど休機しており生産数量には特に影響しない。

インテリア・カーテンレース関係は商社、問屋等も明るい見通しであるが、消費の高級志向の為、設備更新が進みつつある。

編レース業界も円高の影響、又N I E SやA S E A Nなどの追上げで輸出は減少の一途をたどっており、内需によりそれを補っている。

★ 今後の課題

① 業界は一般的に見て今年一杯はまあまあの状態で推移すると思われるが、今後はデザインの、機能的、素材的に秀でた物造りに努力する必要がある。例えばN I E SやA S E A Nなどで出来るような物をつくっていても今後太刀打できなくなる為、高付加価値ゾーンを狙い経営の安定を図る必要がある。

② 永償的な信用をいかに後継者にバトンタッチするかが今後の課題である。

8. 桐生婦人子供服製造協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者ニーズ高級品本物志向

多様化、個性化、高感度低価格高品質が一般に好まれている。

★ 状況、事業概要

円高不況から円高好況へと景気は好転して個人消費を中心に内需が大きな盛り上がりを示し好気、好決算と内需拡大の気運が全産業に産業に浸透した一年であった。

前年の12%増加売上である。

★ 今後の課題

アパレル業界に於ても後進国での低価格の商品輸入が増大する傾向にあるため益々厳しい経営状況に追込まれる中でこれに対応すべく企業団体の一層の合理化短サイクル生産体制が重要な課題となり、各種システム機器自動化機器省力化装置高感度の物造りが出来る企業作りが必要である。

産業構造急速な変化、厳しい時代の心構え、人手不足、週休2日制、消費税導入、大変難しい不透明の時代を迎え、如何に対応するべきか研究しなくてはならない。

9. 桐生織物整経協同組合

★ 状況、事業概要

為替の安定を期待する経済界の願望をよそに、引続き不安定な経済界の中で特に繊維業界は縮小均衡の状況が続いている。

★ 今後の課題

円高の影響を受ける輸出部門、また内需の低迷による受注量の減少、家族労働者の高年令化と難問が山積している。

10. 桐生意匠協同組合

★ 状況、事業概要

各企業個々の努力で輸出物の減少の中でも売上はほぼ横這いで推移した。仕事の内容に変化が見られコンピュータ化によるフロッピー作成、紋紙加工等の併設的な仕事が増えられ、その分だけ売上が上昇した。

★ 今後の課題

機業家と我々が新しい製品（商品）造りをして行かなければならない時期に来ている様で一層情報の収集とデザインの開発研究を進め、桐生特有の商品作りをするための能波の育成に努めなければならない。仕事も関連的なつながりの部分も多分に出て来ているので、業種間の連絡協調を図っていく事が大切であると思う。

11. 桐生刺繍商工業協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

婚礼関係は結婚式場の年々のはなやかさの割合が大きくなった割には、横這い又は、或る程度下降への傾向。

加工関係は昨年の影響をうけ、ブラウス、ハンカチーフ等が忙しい。

★ 状況、事業概要

婚礼関係は横這いながら製品の高度化を計り、品質の向上に過ごしました。加工関係はブラウス、ハンカチーフ等、刺繍全般が忙しく、機械の不足、従業員の確保が難しく生産の伸び悩みが見られた。

★ 今後の課題

新製品の開発と高度化をはかり、消費者の要求に対応して行く。

12. 群馬県綿スフ織物工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

医療用ガーゼ等については、多品種、小ロット、短サイクル化しており、ガラス繊維関係については、建築資材等の用途も広く数量、金額ともにやや増加している。

★ 状況、事業概要

- 医療用ガーゼ等については、業界内の過当競争に加え、多品種、小ロット、短サイクル化で採算は厳しく、今後消費税の導入がどのように影響して来るか懸念している。
- ガラス繊維については、建築資材等その用途は広く、数量、金額ともに昨年をやや上回る実績を残したが、本年より売買を工賃収入に切り換えたため、その分実績の数字は減少した。

★ 今後の課題

円高に加え消費者ニーズの多様化、短サイクル化で業界はその対応策に苦慮し、売上高は増加しても採算状況は依然として厳しい状況に追い込まれた。このような環境は今後益々激しくなるものと思われ、この解決策は産地内生産システムの合理化を計るため、関連団体との密接な連携を計りつつ、各分野で今後必要な情報とそのネットワークを検討して、新繊維ビジョンによる生活文化提案型産地として情報化社会の中で力強く生き残る産地の供給体制を構築することが急務と思う。

13. (協)シルク・ルネッサンス群馬

★ 商品、消費者ニーズの変化について

組合員、森彦染織工芸の草木染絞りスカーフ100枚程、63年3月三越本店にて7日間販売する。次に地場産センターにて売り出し、平成元年2月3・4・5の3日間“桐生物産まつり”にて売り出す。成績はまーまーで研究すれば先行有望の如し。

★ 今後の課題

全国40万都市20ヶ所にアンテナショップを設置して、産直ネットワークで売り出せば、有望と思う。又、各温泉街等の土産物店なども対象として桐織共販売部からマーケットに出荷する等の販売法によれば見込あり。

桐生市繊維振興協会会員名簿

団 体 名	代 表 者	所 在 地	電 話
桐 織 (協)	小 林 松	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生商工会議所繊維部会	木 村 一 蔵	" 織姫町2-5	45-1201
桐生織物商業協	木 村 市 雄	" 永楽町6-6	22-7567
桐生織物産地元売協	木 村 一 蔵	" "	22-9120
両毛輸出織物整経(口)	朝 倉 融	" "	22-2775
桐 生 染 色 (協)	塚 本 祐 平	" "	22-9661
桐生繊維製品協	栗 原 守 男	" 仲町三丁目15-20	43-5115
桐生糸商組合	川 村 治 朗	" 仲町三丁目15-6	44-4171
東日本編レース(口)	黒 沢 岩 雄	" 永楽町6-6	22-3847
桐 生 撚 糸 (口)	田 中 堯	" 稲荷町4-29	44-9431
桐生婦人子供服製造協	中 島 静 雄	" 川内町一丁目47-14	65-7143
両毛輸出スカーフ協	古 谷 恒	" 浜松町二丁目8-20	44-1771
桐生織物整経協	高 久 勇 雄	" 永楽町6-6	22-9184
桐 生 意 匠 (協)	柘 植 洋 二	" "	22-7088
桐 生 紋 紙 (協)	高 橋 金五郎	" "	22-5854
東毛ジャカード刺繍協	朝 倉 健太郎	" 新宿三丁目7-34	43-1166
桐生刺繍商工業協	村 田 永 昌	" 永楽町6-6	22-7919
桐 生 金 銀 糸 (協)	今 西 洋 右	" 巴町二丁目1,832	22-8539
桐生織物買継商友会	小 沢 圭 正	" 広沢町二丁目3125-53	54-0030
群馬県綿スフ織物(口)	小 林 松	" 永楽町5-1	43-2511
(協)シルク・ルネッサンス群馬	岩 崎 秀 雄	" 菱町黒川1,042	44-6559